

秋留台通信

令和3年12月24日 発行

第8号

■卒業後に残るもの

■2学期末確認テストが終わり、
様々な行事が行われました！！

卒業後に残るもの

1 学年主任 柳澤 立児

「教育とは、学校で習ったすべてのことを忘れてしまった後に、残っているものをいう」

これはアインシュタイン博士の言葉で、教育に携わる者としては少々耳の痛い名言ですが、学校の授業が全く無意味だということではありません。授業で学習した内容はもとより、学習するという営みを通して、自ら行動できる自立した人物を育成することが、教育の目的だと推察できます。

生徒の皆さんは授業だけでなく、ホームルームや学校行事、部活動など、様々な経験を通して、教科書には書いていない数多くのことを学んでいます。その学びが自ら考える力を身に付け、行動することにより、人生を切り開く「生きる力」として、卒業後も残っていくことを願っています。また、それらを通して、人生に刺激を与えた出来事や、友人・先生は思い出として記憶の中に生き続け、折に触れ皆さんの心を温かくしてくれると信じています。

10代の頃は、自分がおじさんになるとは想像もつきませんでした。いざ、おじさんになると、友人と呼べる人は若いころに出会った人ばかりです。たまに、学生時代の友人と会うことができますが、その時間だけは当時の精神状態に戻れて、腹を割っていろいろな話ができます。これはなかなかお金では買えない財産だと、いつも感じています。

例えば、コロナ禍の中、学校生活を送ってきた生徒の皆さんは、仕方のないこととはいえ、たくさんの不自由を経験してきました。入学式も卒業式も簡略化されました。自宅学習や分散登校、オンラインの授業も行われました。部活動も活動が制限され、大会や合宿も中止になりました。体育祭や文化祭は例年とは形が変わりましたが何とか開催することができました。しかし、生徒の皆さんは毎日のマスクの着用で、クラスメイトや先生の顔を覚えていないかもしれません。生徒の皆さんが卒業して、残っているものがコロナの記憶だけだとしたら、本当に悲しいです。

学校生活のなかで色々な成功や失敗を経験し、様々な人間関係の中で多くのことを学び、成長し、高校生活を振り返って、たくさんの良い思い出と、一生付き合っていける友人ができるように、我々教職員一同、生徒の皆さんと共に尽力して参ります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動にご理解いただき、変わらぬご支援を受け賜りたいと存じます。

良いお年をお迎えください。

2 学期末確認テストが終わり、様々な行事が行われました！！

12月6日（月）2 学年 産婦人科講演会



よりみつレディースクリニック院長、
依光あゆみ先生をお招きし、性感染症と
妊娠についてのお話をさせていただきました。

12月8日（水）全学年 セーフティ教室

東京司法書士会より講師の先生をお招き
し、携帯電話、インターネット、アルバイト、
法律の基礎知識等について講演して
いただきました。



12月10日（金）3 学年 スポーツ大会



今年度2回目のスポーツ大会は青空のも
と、思い切って体を動かし、各クラスが勝
利を目指して団結する姿が見られました。
卒業まであと少し、先生や友達と過ごす時
間を大切にしてもらいたいです。

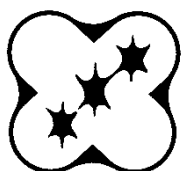
12月17日（金）1 学年 助産師講演会

男子は体育館、女子はふれあいセ
ンターにて、助産師を講師としてお
招きし、命の誕生、異性との関わり、
妊娠や性感染症の予防等のお話をし
ていただきました。



確認テスト後の12月6日より合唱コンクールに向けた練習が始まりました。

3学期もたくさんの行事が予定されています。生徒の皆さんの活躍を期待しています。



真剣 勤勉 善意

東京都立秋留台高等学校

〒197-0812 東京都あきる野市平沢 153-4

電話 042-559-6821

FAX 042-558-3164